「12 回目(13 回目)給与」「12 月賞与」で処理した年末調整をやり直して、 翌年に清算する方法

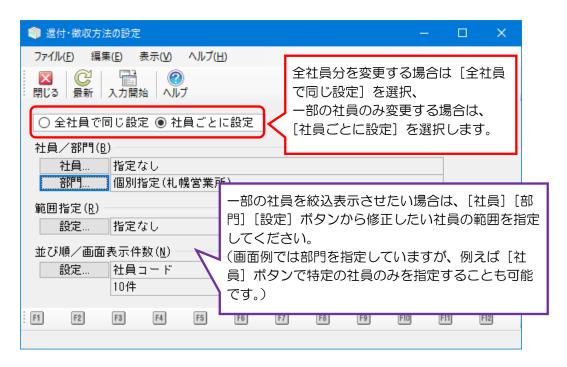
既に還付・徴収を行った社員の年末調整計算をやり直す場合、まず所轄税務署などへ修正処理方法をご相談ください。修正方法により操作手順が異なります。

ここでは「12回目(13回目)給与」「12月賞与」で処理した年末調整をやり直して、翌年に清算する方法をご案内いたします。

【注 意】

操作後は元の状態に戻せませんので、誤って実行しないようにご注意ください。 また、本処理を行う前にデータのバックアップをお取りください。

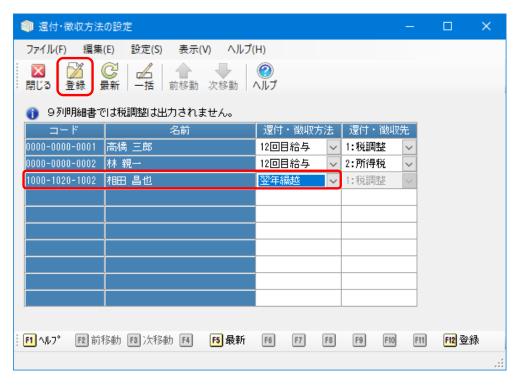
- ① 「年末調整」 「還付・徴収方法の設定」を起動し、表示されるメッセージを [OK] ボタンをクリックして閉じます。
- ② 必要に応じて、還付・徴収方法を変更する対象の社員を指定します。



③ 指定した範囲が正しいことを確認し、[入力開始] ボタンをクリックします。



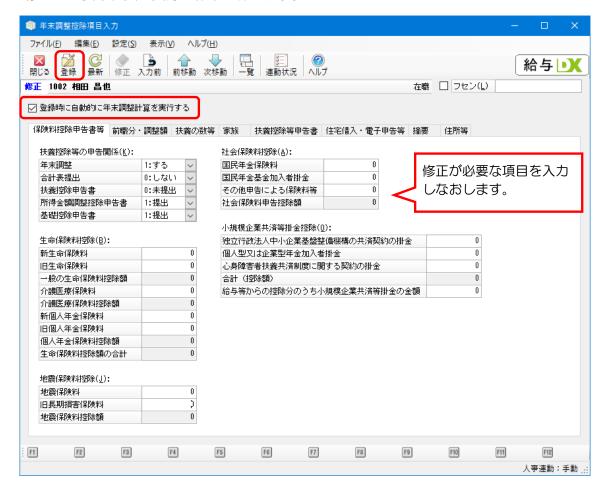
④ 修正を行う社員のみ、還付・徴収方法を「翌年繰越」に変更し [登録] ボタンで登録します。



⑤ 「年末調整」-「年末調整控除項目入力」を起動し、修正が必要な社員を選択します。



⑥ 内容を修正後、「登録時に自動的に年末調整計算を実行する」にチェックマークを付けて登録します。 ※修正が必要な社員全員分の作業を行います。



⑦ メッセージが表示されますので [はい] をクリックします。



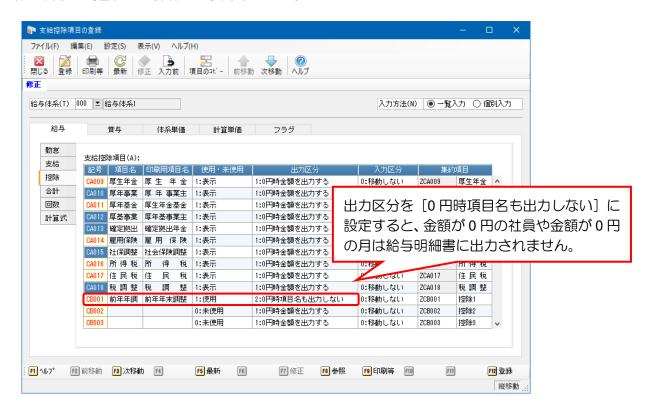
⑧ 「年末調整」-「年末調整-覧表」または「源泉徴収簿」で還付・徴収額を確認します。 ※印刷等で内容を保存してください。

(画面例:「年末調整一覧表」で確認。)

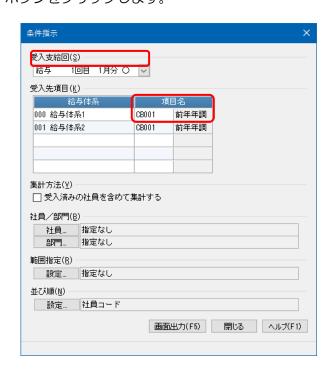


⑨「ファイル」- 「年次更新」にて年次更新を行います。すでに年次更新を行っている場合は、「ファイル」- 「データ領域の選択」にて翌年の領域を選択し、⑪へ進みます。

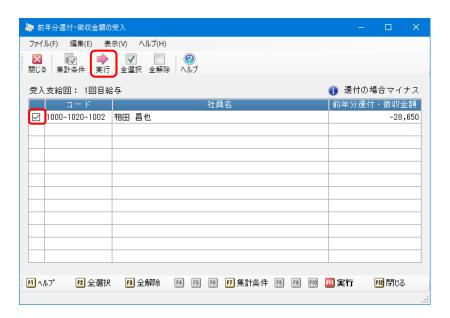
- ⑩「給与体系」-「支給控除項目の登録」を起動し、[控除項目] に還付・徴収金額を受け入れる項目 (例:前年年調など)を作成します。
 - ※ この設定は給与体系ごとです。
 - ※ 既に作成済みの場合、この操作は必要ありません。



- ⑪ 「給与明細書入力」などで1月の給与データを入力します。
- ⑩「給与」ー「前年分還付・徴収金額の受入」を起動します。[受入支給回〕は還付・徴収金額を受け入れる支給回を、[受入先項目]は⑩で作成した控除項目を 指定し、[画面出力] ボタンをクリックします。

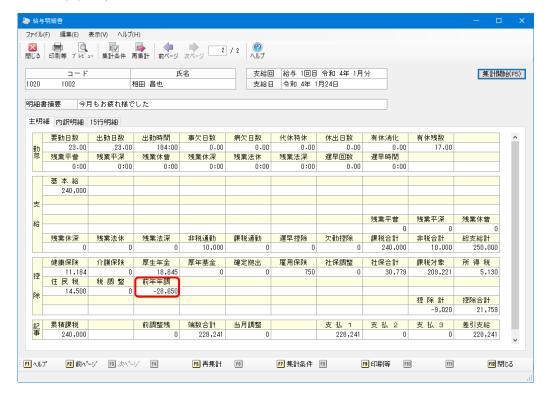


③ 受入可能な社員にはチェックマークが付いていますので、内容を確認し [実行] ボタンをクリックします。

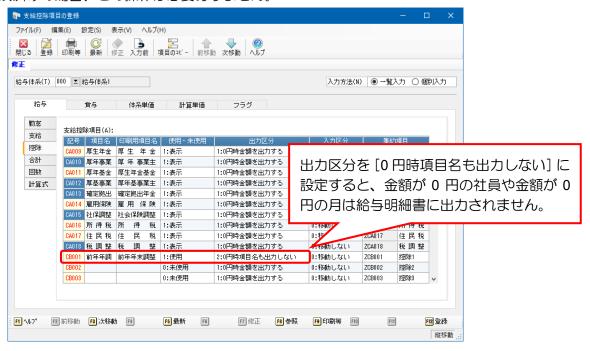


- ⑭ 確認画面が表示されますので、受入を実行する場合は [はい] をクリックします。
- (15) 受入完了画面が表示されます。
- ⑩「給与」—「給与チェックリスト」「給与明細書」などで、指定した項目に還付・徴収金額が反映されているか確認します。

作業は以上になります



- ≪既に年次更新を行っていた場合≫
- ④ 「給与体系」-「支給控除項目の登録」を起動し、[控除項目] に還付・徴収金額を受け入れる項目 (例:前年年調など)を作成します。
 - ※ この設定は給与体系ごとです。
 - ※ 既に作成済みの場合、この操作は必要ありません。



(18)「給与」-「給与明細書入力」などで、作成した控除項目に®で確認した還付・徴収金額を入力します。作業は以上になります。

